

一、關東地方における金屬産業労働組合北部労働組合及び關東合同内の金屬開けの支部は即時合同し神奈川機械労働組合埼玉縣川口金屬労働組合と提携して大金屬産業労働組合協議会を作る事

二、關西に於ける紡績工場の支部關東合同内の染色支部は日本紡績労働組合に編入すべき事

三、高砂工友會、高知製紙労働組合(金屬産業所屬の三菱製紙中川工場支部は直ちに合同して一大製紙労働組合を結成する事

四、肥料ガラス製革ゴム等の産業に屬する組合支部等は化學労働組合に整理する事化學産業は未だその組織数に於て少なくとも軍事上に於て重要な意義を有するが故に獨立組合をしてその發展を促進すべきである

又關東關西に於ける製材産業の整理等

五、以上の具體案を實行に移さんため本大會に於て關係各組合及び支部より若干名の産業別整理委員を選んて之に當らしむる事

は吾々が充分に考へなければならぬ點であると思ふ。労働者に對する階級的教育は恒常持續的でないれば充分に其の目的を達することは出来ない。我が同盟本部の教育活動は組織労働者の強化のための努力に若干の反省を要すべき點がありはせぬかと思ふ。同盟本部が加盟各組合の教育方針に統一の規則を與へることは固より必要欠くべからざることであるが、同時に教育的効果を完たからしめるためには一般的、特殊的教育資料を蒐集、編纂してパンフレットを發行することは緊要事と考へる、これ本案を提出したる所以である。

【實行方法】

同盟本部教育部を中心として特別委員を選任(執行委員及び部員外からも取る)し、發行の序列及び内容の範圍を決定し、定期的(二ヶ月若くは三ヶ月毎)に發行すること、經費は最初の二回分位を上記特別委員中から主任委員(臨時的)を選んで各組合各支部並に有志から寄附金を募つて着手し、第三回

一、教育用パンフレット發行の件

労働者が組合に組織される遺は二つある。一つは労働條件の變化——積極的に改善を圖らんとする場合と消極的に資本家の改悪に反対せんとする場合——と一つは資本主義の矛盾としての自己の立場を意識的に理解し、資本階級の階級的反対勢力として結合せんとする場合とである。然し未組織労働者の組織化の實際的狀況は殆んど第一の場合に限定されるといつてもよいほどに、第二の場合に好まざる率は微小の状況である。

労働者が切實なる現實的要求に基いて組合に組織されたる場合には、これに労働階級としての本質的な立場を意識せしめることがその組織化を強化且つ恒久化せしめる所以である。さればどの労働組合と雖も組織化された労働者に對し、かうした意味での教育を重要事業として行ひつゝ、ある處である。にも拘らず、日本の労働者の組織率が消長常なきこと

以後は自給自足の方法を以てすること。  
14、産業合理化反對に關する決議案

同盟本部提出

資本主義經濟の行詰りを打開し、その安定を快復せんが爲めに、今や資本家階級は所謂産業の合理化に専念しつゝ、ある。彼等の産業合理化とは、機械の最大限の使用及び技術の改良による生産過程の合理化及びミルテ、トランスによる産業組織の合理化である。而してその目的とするところは、生産費の低下による資本家の利益配當の増加である。

然しながら、産業合理化の労働階級に及ぼす結果は何であるか。資本による機械の最大限の使用は労働を軽減せずして、労働の強度を大ならしめ、労働條件を悪化せしむる。更に技術の合理化は、資本家的工場經營の下に於ては、労働者の健康と生活を犠牲として實現されるものである。而して、かくして腐らされた生産率の増進は、必然的に多數労働者の工場よりの放逐である。